

# ダクト発生 9-7エリア間オープン

2007年 4月 6日 ~ 4月 7日 JG0TEV 中村

## 4月6日のダクト発生域 (推定)



ダクト発生による0~7エリア間オープンが確認されました。  
21:16 JH01NE(新潟県新潟市西区)-J071ZD(秋田県にかほ市) RS59-59  
22:45 J10WKK(新潟県新潟市北区)-J071ZD(秋田県にかほ市) RS59-59

## 4月7日のダクト発生域 (推定)



ダクト発生による9~0エリア間のオープンが確認されました。  
11:55 JH01EW/0(新潟県新潟市西蒲区)-J071ZC(秋田県にかほ市) RS59-59  
12:59 JAOEPC/0(新潟県新潟市中央区)-J071ZC(秋田県にかほ市) RS59-59  
19:40 JG0TEV/0(新潟県長岡市)-J071ZC(秋田県にかほ市) RS59-59  
\*JG0TEV/0 ハンテ IC501+280mW+ロッド アンテナ  
19:56 JG0TEV/0(新潟県長岡市)-J071ZD(秋田県にかほ市) RS59-59  
\*JG0TEV/0 ハンテ IC501+280mW+ロッド アンテナ  
19:59 J100FA/0(新潟県長岡市)-J071ZC(秋田県にかほ市) RS59-59  
\*J100FA/0 ハンテ IC501+280mW+ロッド アンテナ  
20:00 J100FA/0(新潟県長岡市)-J071ZD(秋田県にかほ市) RS59-59  
\*J100FA/0 ハンテ IC501+280mW+ロッド アンテナ

7日

寺泊港付近から日本海方面を確認したところ、  
佐渡海峡付近の海面上に水蒸気による  
湿潤空気、その上に乾燥空気が層を形成して  
いることを確認しました。



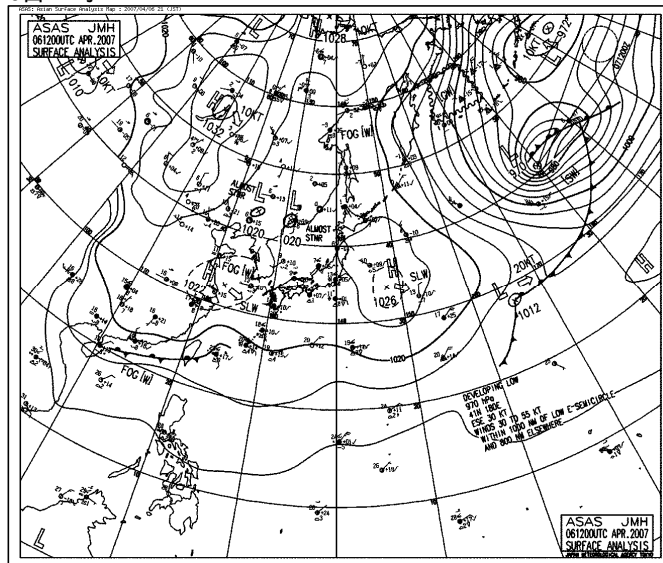
気象解析

この期間は日本付近を移動性高気圧に覆われたことがわかります。

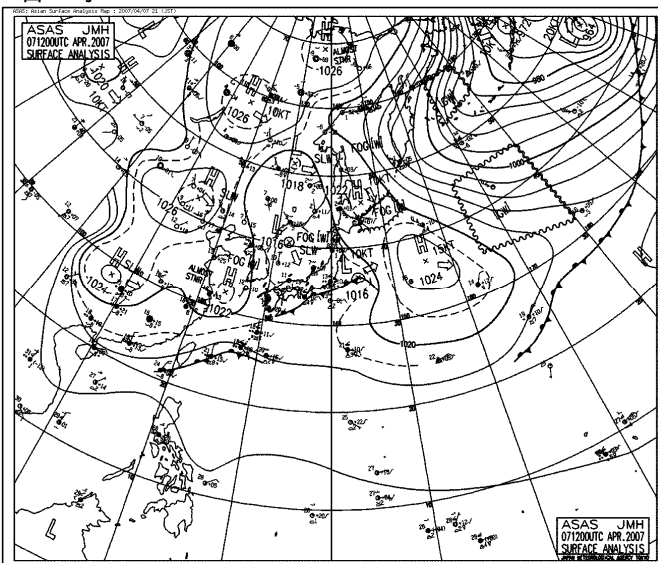
850hpa面解析図から日本付近のリッジは6日が中心ですが、7日は日本海上に乾燥空気が流れ込んでいたことが伺えます。これを裏付けるようにエマグラムから6日と7日の両日ともダクト発生時に見られる逆転層が確認できます。

地上天気図

6日21時

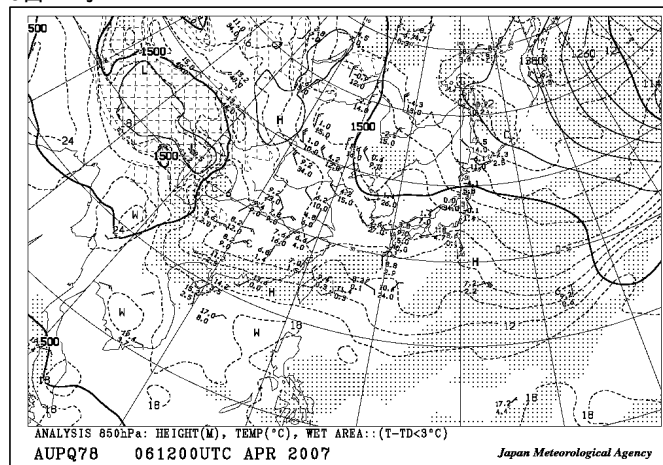


7日21時

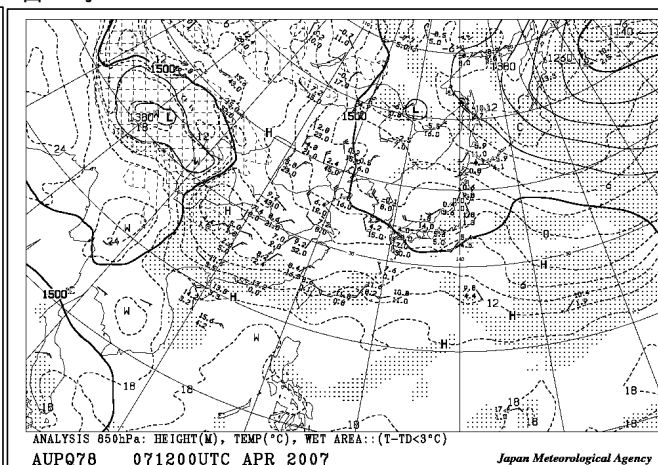


850hpa面高度・気温・湿数

6日21時



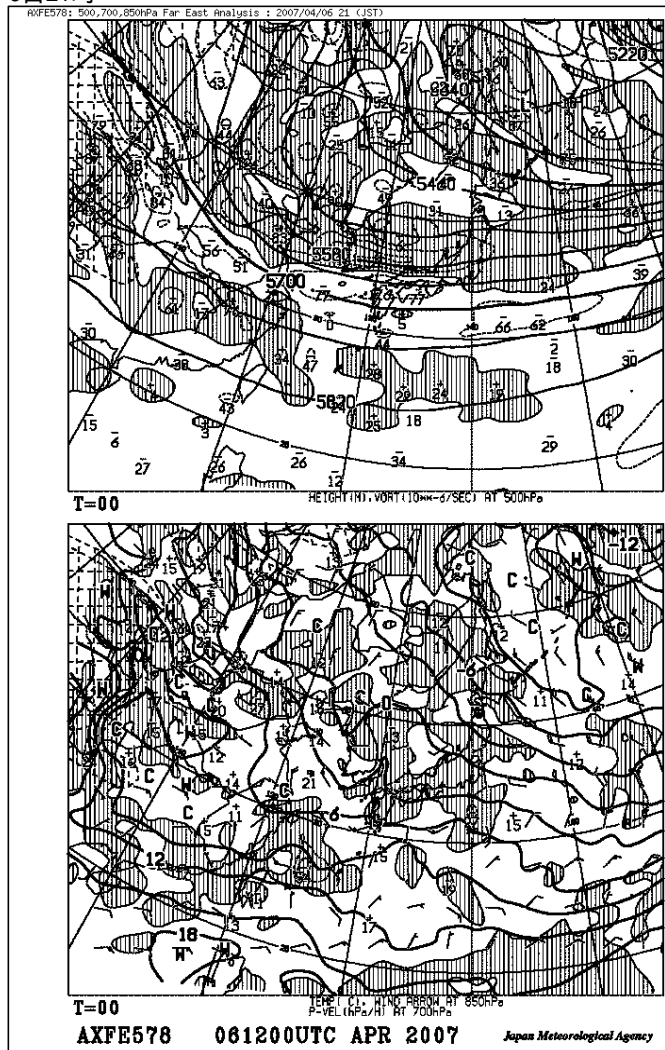
7日21時



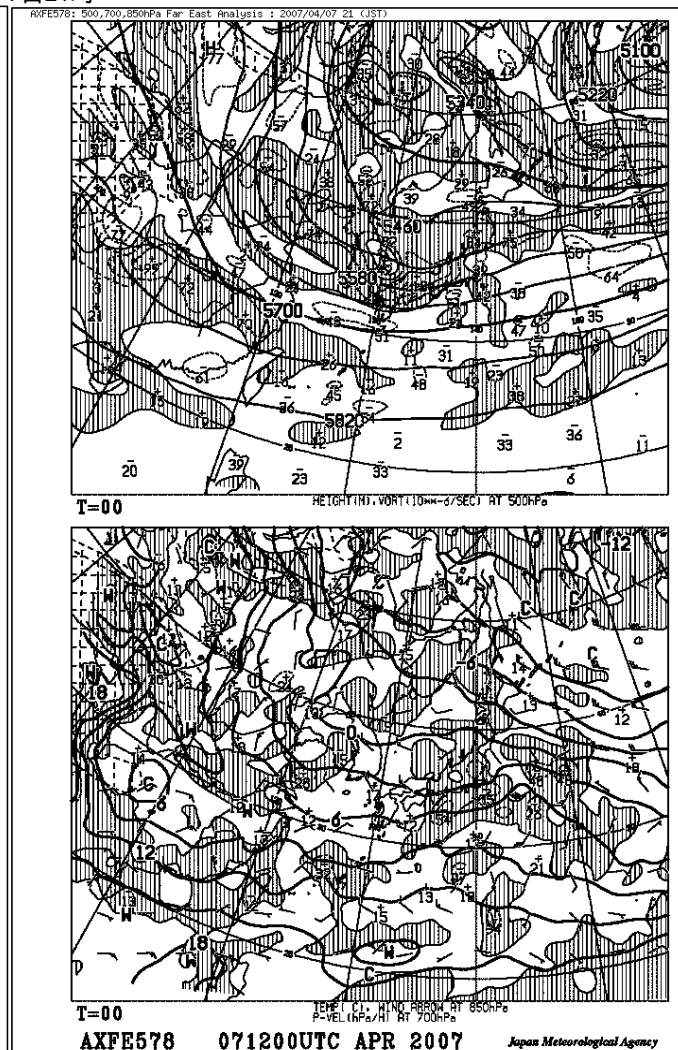
500hpa面解析図から、日本海にリッジは解析されておらず、トラフに伴う正渦度領域に覆われています。  
700hpa面解析図から、日本付近には上昇流域が卓越しています。

以上から、気圧配置上はダクト発生条件はそろいにくい状態であったと考えますが、タイミングよく海面上に湿潤化した空気が広範囲に発生したこと、冷たい海面に対して下層大気に逆転層が形成されやすかったことでダクトの形成に至ったものと推定します。

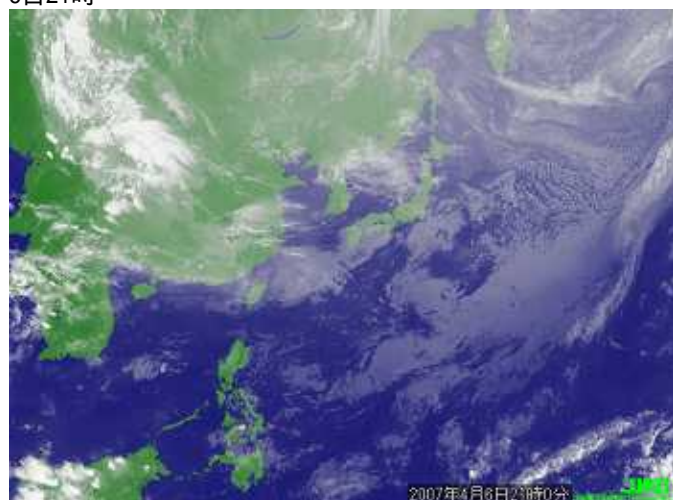
500hpa面高度と渦度・700hpa面鉛直流と850hpa面気温  
6日21時



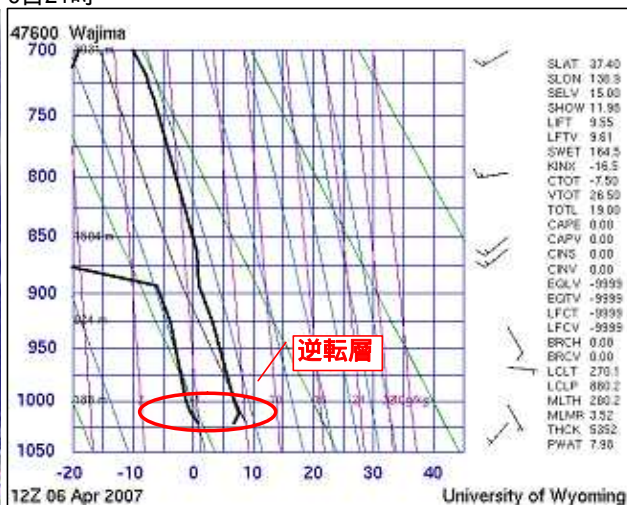
7日21時



【参考】赤外線雲画像  
6日21時



【参考】エマグラム  
6日21時



7日21時

7日21時 輪島

